

# 平成29年度 事業計画書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構【JSTA】

## ■主たる事業

### (1) 国際プロモーション

2019/2020/2021年に開催を控えるメガスポーツイベントの準備動向に連動し、海外情報収集・海外組織との連携を強化する。

- ① 国際スポーツ大会・海外チーム合宿誘致のために、スポーツイベント主催者・スポーツツーリズム推進組織の動向を把握し、交流拡大・連携強化

重点ターゲット：SportAccord Convention2017（オーフス/デンマーク・4月2日～7日）

その他スポーツ関連国際会議

全米スポーツコミッション協会（NASC）、カナダスポーツツーリズムアライアンス（CSTA）、国際スポーツ文化イベント開催都市協会(仮称)（IAEH：2016年設立）との交流

- ② 日本のスポーツコンテンツの国際プロモーションについて国内の関連組織との連携強化

重点連携先：観光庁、文部科学省・スポーツ庁・文化庁、経済産業省、厚生労働省

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進室

独立行政法人日本スポーツ振興センター【JSC】

日本政府観光局【JNTO、正式名称：独立行政法人国際観光振興機構】

（公財）東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

（公財）ラグビーワールドカップ2019組織委員会および開催自治体

（一財）関西ワールドマスターズゲームス2021組織委員会

（公財）日本オリンピック委員会【JOC】

日本パラリンピック委員会【JPC：（公財）日本障がい者スポーツ協会】

各国内競技団体

日本財団・笹川スポーツ財団

（一社）日本旅行業協会【JATA】（ツーリズムEXPO事務局）

（公財）日本観光振興協会

（特定非営利活動法人）日本ヘルスツーリズム振興機構、（一財）日本規格協会  
オリンピック・パラリンピックスポンサー、サプライヤー

③国内・海外で開催される国際スポーツイベントの視察プログラムを検討する。

対象イベント候補：

- 第 29 回東南アジア競技大会(2017/クアラルンプール)SEA Games：2017 年 8 月 19 日～31 日
- 第 9 回東南アジアパラゲームス（2017/クアラルンプール） ASEAN Para Games：  
2017 年 9 月 17 日～23 日
- 第 23 回オリンピック冬季競技大会(2018/平昌)：2018 年 2 月 9 日～25 日
- 第 12 回パラリンピック冬季競技大会(2018/平昌)：2018 年 3 月 9 日～18 日

## (2) 国内プロモーション

①会員拡大の目標数値を下記に設定する。

<2017年3月現在>		<2018年3月目標>
法人	: 35	法人 : 40
法人(公益)	: 24	法人(公益): 28
自治体	: 43	自治体 : 47
スポーツ団体	: 15	スポーツ団体 : 18
個人	: 80	個人 : 82
合計	: 197	合計 : 215

②委員会および部会

- JSTAセミナー研修企画委員会

「JSTAセミナー」を通期開催し、広範なスポーツツーリズムへの関心を喚起する。  
外部組織と連携し、付加価値の高いセミナーの開催を企画・実施する。

2015年8月に刊行した、スポーツツーリズム推進活動を体系的に解説する『スポーツツーリズムハンドブック』を完売するため、会員のみならずJSTAセミナー、スポーツツーリズム・カンファレンス、スポーツツーリズム・コンベンション参加者への配布・販売を行うと共に、自治体・教育機関等へのテキスト採用と人材の養成を働き掛ける。

- オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

各関係組織と連携してオリンピック・パラリンピック情報を収集し、JSTA および会員の2020年に向けた取組に資する。

テーマ事例：事前合宿誘致、マーケティング、スポーツコンGRESS誘致、観戦客動向 等

- その他必要に応じて部会編成を行う。

③官公庁・自治体との連携事業拡大

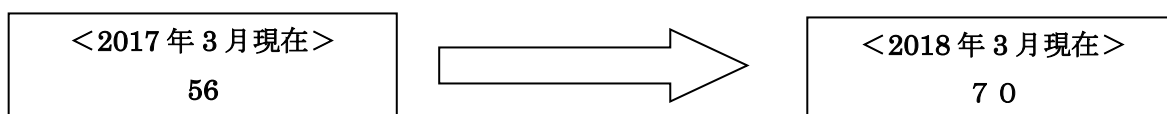
- 観光庁「スノーリゾート地域の活性化に向けた検討会」で策定されたアクションプランの実施
- スポーツ庁「地域スポーツコミッション支援事業」に採択された組織との連携  
「アウトドアスポーツ・ツーリズム協議会（仮称）」への参画
- 厚生労働省「業界検定スタートアップ支援事業」で策定した  
「スポーツイベントプランナー能力検定(仮称)」の技能検定化に向けての取組継続
- 経済産業省「ヘルスツーリズム認証制度委員会（仮称）」に参画し、認証制度の2017年度内

稼働を目指す

- その他自治体のスポーツツーリズム推進事業
- ③商談会の開催
  - スポーツツーリズム・サミット（6月30日、羽田空港）
  - SPORTEC2017—スポーツイベント EXPO（7月25日～27日、東京ビッグサイト）
  - スポーツツーリズム・カンファレンス（11月10日、東京日本財団ビル）
  - スポーツツーリズム・コンベンション（3月15日～16日、佐賀県）
- ④法人向（自治体・企業 等）  
出前セミナー、実体験プログラムの開催

### (3) 地域スポーツコミッション設立支援

- ①「スポーツツーリズム全国連絡協議会」事務局機能をJSTA事務局が担い、地域スポーツコミッション設立の気運醸成
- ②地域スポーツコミッション設立支援のための事例収集、提供、講師派遣等によるアドバイス
- ③地域スポーツコミッション設立に資するセミナーの開催
- ④地域スポーツコミッションおよびそれに準ずるスポーツツーリズム推進組織設置目標



### (4) 情報発信・広報

- ①Web サイト運営
  - 「ランナーズインフォ研究所」の事業化
- ②ソーシャルネットワークサービス（SNS）特に facebook を活用した積極的発信と情報共有
- ③メディア対応の強化
  - 地方メディアの活用

### (5) 調査研究、各種表彰・顕彰、イベント後援

- ①スポーツツーリズムに対する意識調査  
対象：自治体・競技団体・旅行者 等
- ②各種団体との協働による表彰・顕彰制度の創設および既存制度への協力
  - 「スポーツ振興賞」表彰式 SPORTEC2017 での同時開催
  - スポーツ庁・文化庁・観光庁3庁連携事業「スポーツ文化ツーリズムアワード」

「スポーツ文化ツーリズム国際シンポジウム」との連携

## 6) その他

- ①女性スポーツ推進組織との連携
- ②障害者スポーツ推進組織との連携
- ③各種学術団体との連携

## ■管理部門

### (1) 事務局機能強化

事務局長 1【非常勤】、事務局員 3【常勤2、非常勤1】 計 4名(2016年)  
を維持し、連携事業の必要に応じてスタッフの増員を行う。

### (2) 会員に対するサービス機能強化

### (3) 発信能力の向上

### (4) 事業予算の明確化